

会 議 録

会 議 名	平成 30 年度第 1 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開 催 日 時	平成 30 年 6 月 26 日(火) 午前 10 時から午前 11 時 20 分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館 2 階 小会議室	
出 席 者	委員等	小島崇利氏（委員長）、奥田英子氏（副委員長）、深谷純子氏、平山美紀氏、辻明菜氏、恒川里美氏、松下玲子氏、神谷真由美氏、1 名欠席
	事務局	河合教育部長、佐東図書館長、新美図書館係長、長谷川主事、山本図書館指導員
議 題 (公開又は非公開の別)	1 東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）の方向性について（公開） 2 東浦町子ども読書活動推進計画平成 30 年取組計画祖について（公開） 3 その他（公開）	
傍聴者の数	0 名	
審 議 内 容 (概 要)	委員 8 名の出席及び会議の成立を確認 議題の審議内容は、別紙のとおり	

審議内容(概要)

議事(1) 東浦町子ども読書活動推進計画(第三次)の方向性について
事務局より資料に基づき説明。

【質疑意見等】

委員：計画の基本的な方針について、誰が、何を行うのか主語がないため、対象者が不明。漠然としすぎている。誰がということを明確化したほうがよいのではないか。

事務局：誰が何をするか、といった内容は、後半の具体的取組で記載している。東浦町子ども読書活動推進計画第三次の方向性案については、現時点での事務局としての案であり、委員の皆様の立場から現場の声を意見としていただき、事務局の案に対して会議を重ねながら修正を加えていきたいと考えている。ご指摘、ご意見を踏まえて、改変を進めていきたい。

委員：資料について訂正版というものが配れているが、訂正箇所は文字が太くなったところであるという理解でよいか。

事務局：訂正版に内容の変更はなく、太字部分をキーワードとして表現したものである。

委員：本を好きになる機会の提供という部分で、本を生かした保育というものがあるが、これはどういう意味か。

委員：本を好きになるには、本に親しんでもらわないといけない。保育園でも色々な活動に本を使っている。0歳児でも本は好きであり、本をめくるだけでも、持っているだけでも楽しむことができる。保育と本は離せないため、本を生かした保育という表現になっている。

委員：主語がないという意見があったが、第三次の施策体系図においては、誰かという主語が大変強調されている図になっている。

委員：保健センターでの読書活動について、ブックスタートと書かなかったのは、何か意味があるのか。保健センターでの読書活動は、ブックスタートのみのはずでは。ブックスタートという文言をもっと前面に出してもいいと思うが。保健センターで他の読書活動はされているのか。

事務局：施策体系図において、保健センターでの読書活動について、ブックスタートの文言を入れることを検討する。また、保健センターで他に活動がないかは、確認する。

委員：読み聞かせの工夫の項目で、ブックトークへの充実というものがあるが、ブックトークの充実は達成できるのか。ブックトークは奥が深く、読み聞かせボランティアの中でもブックトークができる方は少ない。子どもたちが、ブックトークの取り組みを充実させることは、難しいのではないかと。

委員：学校の立場で言うと、ブックトークの充実をすべての学校で達成させるということは難しい。

委員：5年間でそれぞれの学校において読書環境が整ってきたと思うが、ブックトークの文言を入れてしまうと、やっと読み聞かせが充実してきた学校にはものすごくハードルが上がってしまうのでは。

委員：第三次の5年間はブックトークができる人を増やしていくような5年間にすべきだと思う。

事務局：取り組み計画書において、ブックトークについて触れているのは1小学校のみである。図書館サポーターによる読み聞かせ、各学級1年間に1回行っている。

委員：図書館サポーターは本の整備と環境整備で、本は読まないはず。図書館サポーターも与えられる業務がそれぞれ異なるため、そこから考える必要があるのではないかと。

事務局：ブックトークの充実が話の問題になっているが、第二次計画においてブックトークの充実ができていなかったというご指摘を多々いただいている。これを受けて、ブックトーク充実のハードルも高いということであるため、第三次計画に文言を載せるかどうかというところから考える必要がある。ブックトークの取り組みを学校が実際にやるかどうかは、学校によるが、皆様のご意見を踏まえて考えていきたい。

委員：ブックトークはハードルが高いことは承知している。ブックトークの充実を強力に推進ということではなければ、文言を削除したほうが現実的だし、やれる学校が少しでもあるのであれば、文言を残したほうがよいのではないかと。

事務局：ブックトークの文言についての表現は、検討する。

審議内容(概要)

議事(2) 東浦町子ども読書活動推進計画平成30年取組計画書について
事務局、保育園及び児童館より資料に基づき説明。

【質疑意見等】

委員： 外国語の本を購入していることを、もっとアピールしたらよいのではないかと。また、読み聞かせの核となるものをつくることを目的とし、読み聞かせのボランティア養成講座を開設して欲しい。学校、ボランティア及び図書館の交流がないため、1年に1回モチベーションを上げるためにも交流会をやったほうがよいのではないかと。さらに、図書館からボランティアへ定期的に情報提供があるとよい。

事務局： ボランティア対象の講座については、資料に別途書かれているため、参考にしていきたい。

審議内容(概要)

議事(3) その他について

事務局より

- ・東浦町子ども読書活動推進計画（第三次）策定スケジュールについて説明
- ・事務連絡を行う。

【質疑意見等】

事務局：補足になるが、説明の中で第二回、第三回の会議でこちらから提示するたたき台及び最終案については、すべて事務局側で原稿を用意させていただく。そのため、皆様に文章を書いていただくことは考えていない。会議の際に、こちらが提示するたたき台、最終計画案について目を通していただき、ご意見を賜り、修正を加えて最終的な原稿をつくっていくことを考えている。